

道道知床公園線（カムイワッカ～硫黄山登山口間）道路特例使用制度の結果概要2

3. 実施結果（続き）

- ③ 利用者849人のうち、硫黄山登山者が494人（58.2%）、知床連山縦走者が355人（41.8%）であった。【別表1】
- ④ 但し、規制前は硫黄山72.1%、縦走27.9%であったが、規制中は硫黄山22.1%、縦走77.9%と登山行程の割合が大きく変わっている。これは、規制中はシャトルバスの運行時刻の制約を受け、硫黄山登山が時間的に困難になったためと推測される。【別表1】
- ⑤ 連山縦走者355人の経路について、硫黄→羅臼が65人（18.3%）、羅臼→硫黄が290人（81.7%）と下山者の割合が極めて高かった。
- ⑥ 申請状況について、正規の手続きである事前申請が43.5%、現地当日申請が56.5%であった。居住地別では、道内者の49.1%、道外者の34.9%が事前申請であったが共に過半数を下回った。昨年と比較すると、現地当日申請が増えており、当日でも申請できるという認識から増加したのではと考えられる。【別表2】
- ⑦ 乗用車通行可能期間（6/23～7/31、8/26～9/14）において、管理員が直接受理したものが39.9%、無人受理（申請書のポストへの投函）が60.1%であった。これは、硫黄山登山者の多くが管理員が配置につく8:00までに通過したことを意味している。（硫黄山登山者の平均入山時刻は6:10）（規制中はほぼ全数が有人受理。）
- ⑧ 利用者の居住地は、道内近郊（オホーツク・根室・釧路管内）が35.2%、道内遠方が32.8%、道外が32.0%であった。市町村別では、①札幌市162人、②斜里町111人、③北見市56人、④釧路市37人、⑤網走市29人、⑥羅臼町・旭川市共に22人が多かった。道内近郊、道内遠方者は道外者に比べ、マイカー規制前に利用した者の割合が多かった。【別表3】

■別表1

期間区分	日数	硫黄山登山	知床連山縦走	合計	日平均
6/23～7/31 (車両規制なし)	39日間	383人 (72.1%)	148人 (27.9%)	531人 (62.5%)	13.6人
8/1～8/31 (マイカー規制含)	31日間	43人 (22.1%)	152人 (77.9%)	195人 (23.0%)	6.3人
9/1～9/23 (マイカー規制含)	23日間	68人 (55.3%)	55人 (44.7%)	123人 (14.5%)	5.3人
合計	93日間	494人 (58.2%)	355人 (41.8%)	849人	9.1人

■別表2

区分	道内近郊 (オホーツク・根室 ・釧路管内)	道内遠方 (3管内外)	道外	合計
事前申請	57件 (43.5%)	54件 (56.8%)	52件 (34.9%)	163件 (43.5%)
現地当日申請	74件 (56.5%)	41件 (43.2%)	97件 (65.1%)	212件 (56.5%)
人数	131件	95件	149件	375件

■別表3

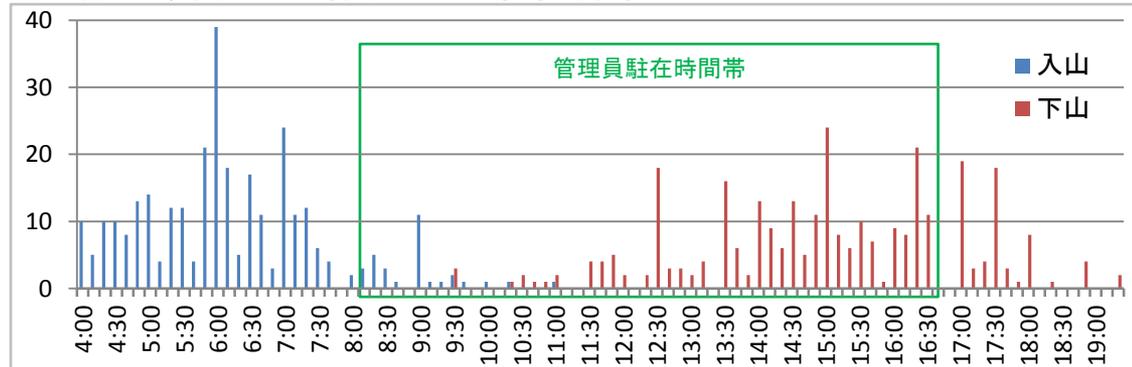
区分	道内近郊 (オホーツク・根室 ・釧路管内)	道内遠方 (3管内外)	道外	合計
6/25～7/31 (車両規制なし)	208人	177人	146人	531人
8/1～8/31 (マイカー規制含)	38人	83人	74人	195人
8/1～8/25 (マイカー規制含)	53人	18人	52人	123人
人数	299人(35.2%)	278人(32.8%)	272人(32.0%)	849人

道道知床公園線（カムイワッカ～硫黄山登山口間）道路特例使用制度の結果概要3

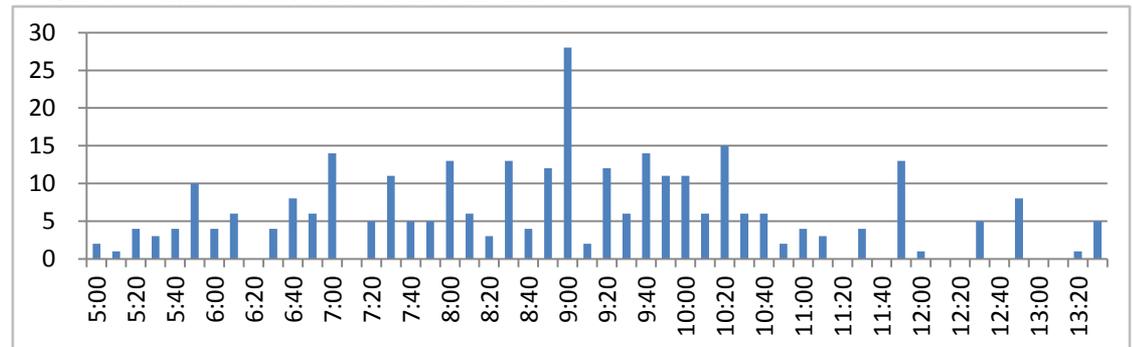
4. 登山動態

- ① 硫黄山登山者（6/24～7/31、所要時間5時間以上の306人）の入下山時刻の人数分布は、【別図2】のとおりであった。（入山時刻の平均は6:10、下山時刻の平均は14:58。）
- ② これらマイカー規制前の硫黄山登山者の平均所要時間は8時間48分であった。【別図3】
- ③ 知床連山縦走者355人の、もう一方の入下山地点は、岩尾別が294人（82.8%）、羅臼町湯の沢が25人（7.1%）、その他（沢登り）が36人（10.1%）であった。
- ④ 知床連山縦走者355人のうちの不明者を除く321人の行程は、日帰りが9人（2.8%）、1泊が228人（71.0%）、2泊が82人（25.6%）、3泊が2人（0.6%）であった。
- ⑤ 縦走1泊者228人の幕営地は、羅臼平11人（4.8%）、三ツ峰16人（7.0%）、二つ池134人（58.8%）、硫黄山9人（4.0%）、指定地外58人（25.4%）であった。
- ⑥ 縦走2泊者82人の幕営地は、羅臼平+二つ池3人（3.7%）、羅臼平+硫黄山24人（29.3%）、三ツ峰+硫黄山48人（58.5%）、その他7人（8.5%）であった。
- ⑦ 幕営地ごとの泊数は、羅臼平14泊（4.7%）、三ツ峰16泊（5.4%）、二つ池142泊（48.0%）、硫黄山89泊（30.1%）、その他35泊（11.8%）であった。

■別図2：硫黄山登山者の入下山時刻の分布



■別図3：硫黄山登山者の所要時間分布



5. 総括及び特記事項

- ① 現地での通行をめぐるトラブルはほぼ皆無であり、落石の恐れへの周知や自己責任であることに抵抗感を示す人もおらず、順調に制度運営をすることができた。また、当初懸念された登山者以外の一般観光客による通行も、ほとんど見受けられなかった。
- ② 申請をせずに立ち入ったと思われる者もほとんどおらず、事前申請を補完する現地当日申請も相応に機能した。
- ③ 特例使用区間・期間中において、落石や道路の異常は確認されなかった。
- ④ 湯の滝付近の駐停車スペースも混乱はほぼ生じなかった。（但し、唯一、7/15（土曜に始まる3連休の2日目）の10:00～15:00の時間帯に駐停車エリアから数台の車両があふれ、路上駐車する状況が見られたが、混乱やトラブルは発生しなかった。）

道道知床公園線（カムイワッカ～硫黄山登山口間）道路特例使用制度の結果概要 4



カムイワッカゲート管理詰所



通行申請書投函・記載台



特例制度開始日（H24/6/23）



通行申請状況



カムイワッカ駐車状況（H24/7/4）